



住宅用火災警報器の
設置はお済みですか？

自衛消防隊初期消火訓練指導会より

平成 28 年度全国統一防火標語

消しましょう その火その時 その場所で

平成 28 年度危険物安全週間推進標語

危険物 決めろ無事故の ストライク

会長あいさつ

防火思想の普及徹底を図り、地域の安心、安全に寄与してまいります。

熊谷市防火安全協会

会長 森田 隆夫



平成29年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

会員の皆様には、平素から当協会の事業推進につきまして、御理解、御協力をいただき深く感謝申し上げます。

昨年は、全国的に自然災害による被害が多く発生し、特に8月以降、台風が立て続けに上陸した年でもありました。その中でも8月30日に岩手県に上陸した台風10号は東北地方から北海道地方にかけて甚大な被害をもたらしました。

被災された皆様に、心からお見舞い申し上げますとともに、元の生活を早く取り戻すことができますよう願うところであります。

さて、当協会の事業ですが、7月28日には防災研修会として、東京ガス株式会社浜松町本社ビルで、首都圏の都市ガス製造と供給施設の稼働状況を24時間365日体制で監視、コントロールしている供給指令センターの視察、次に東京ガス千住テクノステーションでは、最先端のエネルギー技術の実証、実験施設の視察、更に燃料電池自動車の試乗も体験し大変貴重な経験をしました。

10月24日、25日の県外視察研修では、養命酒駒ヶ根工場、山梨県立リニア見学センター等を訪れ、超電導リニアやリニア中央新幹線の概要について視察し、有意義な研修となりました。

11月9日の秋季全国火災予防運動週間中に熊谷駅構内で実施した街頭広報では、県内の消防本部が一斉に行う住宅用火災警報器の設置促進のキャンペーンを行い、大勢の駅利用者へ火災予防と住宅用火災警報器の設置をお願いしました。

11月13日の消防フェアには、多くの来場者の皆様にとん汁や啓発物品などを配布し、当協会のPRをするとともに、火災予防の広報に努めました。

また、埼玉県危険物事故防止連絡会において、危険物施設の事故防止の徹底を図るため、官民連携を図り、情報の交換、共通的な課題への対応策の検討、相互の取り組みへの協力等を行うことを目的として設置されております。

当協会といたしましては、今後も消防本部と協力し防火思想の普及徹底を図り、地域の安心、安全に寄与してまいりたいと存じますので、皆様には更なる御支援、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、会員皆様の御健勝と御多幸を祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

消防長あいさつ

火災予防の啓発活動を始め、より一層の火災予防体制の充実強化を図ります。

熊谷市消防長 木村 和行



平成29年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

熊谷市防火安全協会会員の皆様には、日頃から本市消防行政の推進に格別の御支援、御協力をいただき、心からお礼を申し上げます。

さて、昨年の災害状況を顧みますと、全国的には自然災害が猛威を振るい、4月に発生した熊本地震では、多くの家屋が倒壊し、多数の尊い命と財産を失い、今なお多くの方が不自由な生活を強いられております。

さらに、8月30日には台風10号による東北地方から北海道地方にかけての記録的な大雨は、甚大な被害をもたらしました。

こうした様々な災害が日本各地で発生している状況に加え、南海トラフ巨大地震や首都直下地震による被害も危惧されており、消防に寄せる市民の期待は、ますます大きなものとなっております。

幸いにも本市では、大きな災害は発生しておりませんが、平成28年11月末日までの火災件数は、58件で、昨年の同時期と比較すると16件増加しております。火災原因につきましては、放火または放火の疑いが増加したことが原因と考えられますので、事業所はもちろん御家庭でも周囲に燃えやすい物を置かないなど、火災予防の徹底をお願いいたします。

また、平成20年6月から全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられ、初期に設置された住宅用火災警報器においては電池切れ等、更新時期が近づいているものも多くなっておりますので、正常に作動するよう維持管理をお願いいたします。

消防本部としても、火災予防の啓発活動を始め、より一層の火災予防体制の充実強化を図り、市民の皆様が安心して暮らせるよう努めてまいりますので、皆様におかれましても、更なる防災意識の向上と、火災予防の徹底をお願いいたします。

結びに、熊谷市防火安全協会のますますの御発展と会員皆様の御健勝をお祈り申し上げ、ごあいさつといたします。

平成28年度 定例総会

平成28年5月27日 マロウドイン熊谷において熊谷市防火安全協会定例総会が会員65名の出席のもと開催されました。

定例総会では5議案が審議され、全て原案のとおり承認されました。続いて、公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰の伝達及び熊谷市防火安全協会会長表彰が行われました。

定例総会終了後には、会場を移して懇親会が催され、富岡清名誉会長から挨拶をいただき、会員相互の親睦がさらに深まりました。

平成28年度 熊谷市防火安全協会 定例総会



- ・議案第1号 平成27年度熊谷市防火安全協会事業報告について
- ・議案第2号 平成27年度熊谷市防火安全協会一般会計収入支出決算について
- ・議案第3号 平成27年度熊谷市防火安全協会特別会計収入支出決算について
- ・議案第4号 平成28年度熊谷市防火安全協会事業計画(案)について
- ・議案第5号 平成28年度熊谷市防火安全協会一般会計収入支出予算(案)について



表彰受賞者

(順不同・敬称略)

熊谷市防火安全協会表彰

功労事業所

- 熊谷商工信用組合 妻沼支店
- 埼玉縣信用金庫
- 太平洋セメント株式会社 熊谷工場
- 森燃料店

優良防火管理事業所

- 社会福祉法人ときわ会 熊谷太井保育園
- リンテック株式会社 熊谷工場

優良防火管理者

- 東京ガス株式会社 熊谷支店 吉野 知治
- 日清シスコ株式会社 東京工場 坂田 隆行

優良危険物事業所

- 有限会社 新井吉蔵商店
- 株式会社 アーレスティ 熊谷工場
- 日東富士製粉株式会社 埼玉工場
- 野村陸運株式会社
- 有限会社 星野商会セルフ熊谷東店

優良危険物取扱者

- 有限会社 エビス石油 小林 仲次



公益社団法人 埼玉県危険物安全協会連合会表彰

優良危険物事業所

- 関東浅野パイプ株式会社
- 合資会社 親松商店
- 社会福祉法人 清風会 福祉医療センター 太陽の園

優良危険物取扱者

- 日本メタルガセット株式会社 銚田 英樹
- 熊谷産業株式会社 荒川南営業所 大賀 新二
- 株式会社 井ノ瀬運送 増島 和行

優良普及啓発活動事業所

- 有限会社 山中製作所
- UCC上島珈琲株式会社 北関東工場
- 株式会社 ベルク 柿沼店



平成 28 年度 防災研修会



平成28年7月28日、東京都港区の東京ガス株式会社浜松町本社ビル、荒川区の東京ガス千住テクノステーション「E i - W A L K」において防災研修会が行われ会員37名が参加しました。

浜松町本社ビルでは、首都圏の都市ガスの製造と供給設備の稼動状況を24時間365日体制で監視・コントロールしている供給指令センターの視察を行いました。



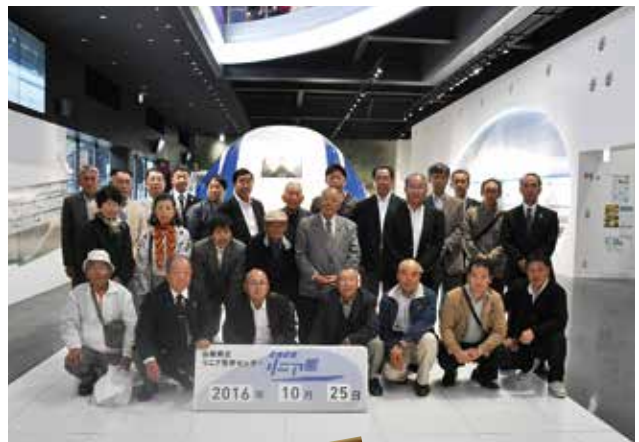
荒川区の東京ガス千住テクノステーション「E i - W A L K」では、最先端のエネルギー技術の実証・実感施設を歩いて視察、都市ガスから水素を製造して燃料電池自動車に充填する「千住水素ステーション」で、水素燃料自動車の試乗体験を行いました。

平成 28 年度 県外視察研修

平成28年10月24日、25日県外視察研修が行われ会員23名が参加しました。

1日目は、長野県諏訪市の諏訪大社上社本宮を見学し、駒ヶ根市の養命酒工場で養命酒の製造工程及び包装する製造ラインの視察などを行いました。

2日目は、山梨県都留市の山梨県立リニア見学センターで、日本で唯一時速500Kmで走行する超電導リニアを間近で体感することができました。また、リニアジオラマや浮上走行が模擬体験できる装置などを視察研修しました。



平成28年 新年賀詞交歓会



副会長挨拶

平成28年1月15日にマロウドイン熊谷において、賀詞交歓会が行われ会員54名が出席しました。

森田会長及び木村消防長から新年の挨拶をいただき、昨年同様、会長、副会長賞としてお花をジャンケンゲームによって勝者に贈るなど、楽しく親睦の深まった賀詞交歓会でした。

防災訓練

平成28年8月27日、熊谷荒川緑地自由広場（荒川大橋下流左岸）で、平成28年度熊谷市総合防災訓練が行われ、森田会長をはじめ、副会長、理事の方々が参加しました。

雨が降る中、実際の消火器を使用し、燃え盛る燃焼皿の炎を見事に消すことが出来ました。



消火器を使用した消火訓練に参加しました。

火災予防街頭広報

平成28年11月9日、JR熊谷駅2階北側自由通路で、住宅用火災警報器の設置促進を図ると共に、火災予防を呼びかける火災予防街頭広報を実施しました。

森田会長ほか8名の協会員で啓発資料800部を配布し、消防音楽隊の演奏もあり、大勢の駅利用者の皆さんに広報が出来ました。



リーフレットやポケットティッシュを配布しました。

第17回消防フェア

平成28年11月13日、昨年同様、庁舎西側でテントを設営し、森田会長ほか役員有志で大鍋3つにとん汁を作りました。

また、太平洋セメント(株)熊谷工場、(株)ニコン熊谷製作所、ゼリア新薬工業(株)埼玉工場から貴重な品々を提供いただき配布しました。



大勢の皆様にご配布できました。



1日消防署長がはしご車に搭乗しました。



1日消防署長の辞令交付が行われました。

第20回防火ポスターコンクール

熊谷市立奈良小学校
木村 洋希さん



熊谷市立大幡小学校
植野 莉生さん



火災予防に対する知識と関心を高めるため、市内の小学4年生を対象に防火ポスターを募集しました。多くの児童からご協力をいただき、1,540点もの力作が揃いました。

作品の中から、特・入選に選ばれた100点を消防フェアや市役所1階に展示し、火災予防をPRしました。

また、特選作品の中から最優秀2点を熊谷市消防本部の秋と春の火災予防運動用ポスターとして採用しました。

自衛消防隊初期消火訓練指導会

第27回自衛消防隊初期消火訓練指導会が、平成28年10月14日、熊谷スポーツ文化公園にぎわい広場において、市内20事業所22隊の参加のもと開催されました。結果は以下のとおりです。

- 優勝** 太平洋セメント株式会社 熊谷工場B
- 準優勝** 熊谷市役所B
- 3位** 能美防災株式会社 メヌマ工場
- 入賞** 日立金属株式会社 熊谷事業所A
- 入賞** 日立金属株式会社 熊谷事業所B
- 入賞** 太平洋セメント株式会社 熊谷工場A
- 10回出場表彰** リンテック株式会社 熊谷工場
- 20回出場表彰** 能美防災株式会社 メヌマ工場





能美防災株式会社メヌマ工場

新年明けましておめでとうございます。

熊谷市防火安全協会の皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

能美防災は、創業者能美輝一が「火事を防ぐことの必要さは、国民生活と直結した日々の重要課題である」という思いから始まり、昨年12月に創立100周年を迎えることが出来ました。これまでもこれからも「防災事業のパイオニアとしての使命に徹し、社会の安全に貢献する」という社是に従い、社会の変化・生活環境の変化に伴ってめまぐるしく多様化する状況に対応すべく、常に最新で最適な防災システムを提供し、火災などの災害によって尊い命や貴重な財産が奪われることのない世の中を目指しております。この中で、メヌマ工場は、標準品生産工場として高品質な製品づくりを対応しております。

さて、当工場の防災活動は、各所属長をリーダーとした迅速な対応をとれる自衛消防組織を編成し、年末の全体避難訓練では5分以内の全員避難完了とする訓練の実施。新入社員は自衛消防隊初期消火訓練指導会に参加させ、その指導には前年参加した隊員に当たらせることで継続的な技術の伝達を実施しております。また、毎年熊谷市消防本部より指導員の派遣を頂き、工場内各部所より最低1名以上に普通救命講習会を受講させ、2年毎に継続受講させることで有事の際に対応出来る人材の確保も行っております。

今後も積極的な防火防災活動に取り組むとともに、地域の安心安全に貢献できる工場を目指してまいりますので、皆様方のご指導、ご協力をお願い致します。



リンテック株式会社熊谷工場

熊谷市防火安全協会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

当工場は、昭和35年に旧四国製紙(株)熊谷工場として建設され、製紙ならびに加工紙製造業として発展してまいりました。現在ではコートフィルム製造など、事業を拡大しております。

当工場の防火防災活動はリンテック熊谷工場消防計画を定め、避難訓練や消火訓練を実施する一方で、溶剤を取扱う施設も多く有るため、危険物火災を想定した消火訓練の実施や、着火事故予防委員会による定期パトロールを行い、自主防火体制を強化しています。

また、自衛消防隊初期消火訓練指導会も本年度で10回出場となりましたが、毎回出場選手の入れ替えを行い、幅広く初期消火技術が向上することを目指して参加しています。

今後とも防火防災活動に取り組み、より安全な工場を目指してまいりますので、皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。



消防音楽隊 定期演奏会



当協会が協賛している熊谷市消防音楽隊の定期演奏会が、平成29年2月11日(土)午後2時から熊谷文化創造館さくらめいと太陽のホールで開催されます。

当日は、演歌からアニメソングまで幅広い演奏のほか、職員によるアトラクションが行われる予定ですので、チケットをご希望の方はお近くの消防署にお問合せください。





《住宅用火災警報器を設置しましょう！》

全国では、住宅からの火災により、毎年約 1,000 人の方々の尊い命が犠牲となっています。このうちの約6割が「逃げ遅れ」によるもので、特に就寝時間帯に多く発生しております。

「住宅用火災警報器」は、火災の発生を早期に感知し、警報音や音声などで知らせる機器であり、設置することで「逃げ遅れ」による犠牲者の発生を防ぎ、火災による被害を最小限にすることを目的にすべての住宅に設置が義務付けられています。

これまで実際に「住宅用火災警報器」を設置していたことにより、大事に至らずに済んだ奏功事例が数多くあります。

住宅用火災警報器が設置されていたため、大事に至らずに済んだ事例(市内)

事例1 電気ストーブの近くにタオルを干したまま外出…



隣に住む住人が、寝室に設置されていた住宅用火災警報器の警報音に気づき、すぐに119番通報したため大きな被害には至らなかった。

事例2 コンロの火をつけっぱなしに…



居住者が、台所に設置されていた住宅用火災警報器の警報音に気づき、すぐにコンロの火を消したため、火災には至らなかった。

事例3 たばこの不始末…



居住者が、居室に設置されていた住宅用火災警報器の警報音に気づき、すぐに水をかけたため大事には至らなかった。

熊谷市内における火災状況 (H28.11.30 までの比較)

(平成27年と平成28年の11月30日までの件数)

	放火・放火の疑い	こんろ	たばこ	電気機器等	たき火・枯草焼却	ストーブ	その他	不明	調査中	合計
平成27年	3	2	5	5	5	1	15	1	5	42
平成28年	15	8	2	6	1	2	9	6	9	58

救急車を上手に利用しよう

救急出動件数は全国的に増加傾向です。出動要請の中には、「夜間・休日の病院が分からない」、「救急車なら優先的に診てくれると思った」など緊急性が低いと思われるものもあります。こうした救急車の利用が増えると、救急隊の現場までの到着時間が遅くなり、救命活動の開始が遅れる恐れがあります。

救える命を守るため、救急車の適正な利用にご協力をお願いします。

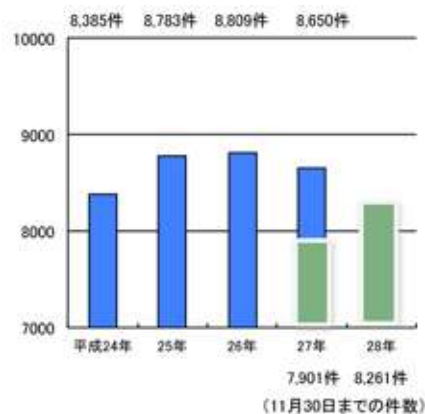
こんな時は、ためらわず 119 番してください！

- 急に、日頃と違う状態になった
- 意識がない
- 呼吸がない
- 胸の痛みや圧迫感
- 突然うまく話せなくなった
- 突然の激しい頭痛

総務省消防庁 救急車利用マニュアル

http://www.fdma.go.jp/html/life/kyuukyusya_manual/

熊谷市における救急出動件数の推移



熊谷市防火安全協会会員募集について

当協会では、危険物施設の安全管理と事業所の防火管理体制の充実及び災害防止の徹底を図ることを目的に会員を募集しております。お知り合いの事業所で、まだ入会されていない事業所がありましたら、ご紹介をお願いいたします。ご加入などのお問合せは、事務局までご連絡ください。

熊谷市防火安全協会事務局 (熊谷市消防本部予防課内) TEL 048-501-0118 FAX 048-521-1207

—編集後記—

会員皆様のご協力により「協会だより」(第11号)を発刊する運びとなりました。今後も皆様に親しんでいただける「協会だより」となるように身近な情報の提供をお待ちしています。